

令和7年度名取市休日夜間急患センター運営委員会

会 議 録

1. 日 時 令和7年8月28日（木）午後7時00分～午後7時50分

2. 場 所 保健センター 2階会議室

3. 出席者 運営委員 千田 元委員長、曾我 睦、桑島一郎、毛利 虎一
山田秀和、阿部倫明、中山 聖子、星 有二 計8名

事務局 曾我良輔、丹野尚昭、馬場ルリ子、高橋久美子、遊佐晶子、
安部久美子、加藤 勤、佐藤和歌音 計8名

4. 委員会概要

*会議に先立ち、事務局より3点報告

①委嘱状交付式は執り行わない（中山部長、新委員選出だが、任命状を机上に置き紹介のみとした R7.4～R8.3 任期）

②8名出席につき過半数に達しており、条例第12条第2項により会の成立を報告
川村義宏委員、金沢義彦委員欠席

③本日の傍聴者無しの旨報告

運営委員会

(1) 開 会

(2) 挨拶 急患センター所長 曾我 良輔
(本来は、千田委員長だが従前からの慣行で曾我所長とする)

(3) 議事

1. 報告事項 令和6年度診療状況報告等について

(1) 診療科別利用状況から(7)感染隔離診療状況まで曾我所長から説明
令和6年度の利用者数は5,615人と令和5年度比較し374人の減少となった。
コロナ禍前の令和元年度は6,430人なので、受診者は減少傾向にある。
感染隔離診療状況は、発熱の申告がある場合は感染棟にて診療している。
感染の流行については、変異株もあり今後も注視していかないとはいけない。

令和6年度の年末年始の状況は9日間の大型連休となり、コロナ、インフルエンザの流行もあり開設以来の診療者数となった。

9日間で1,677人1日平均186.3人 診療者数5,615人の29.8%を占めた。

委員から特に質疑なし

(8) 令和6年度管理運営委託料決算書から(9) 令和6年度事業報告まで加藤事務長補佐説明

委員から特に質疑なし

(10) 電子カルテ導入について 曾我所長説明

これまでの導入に至る経緯と臨時科長会での審議により、ウィーメックス社の電子カルテを導入し、稼働を令和8年10月から11月に予定していることを報告。

ウィーメックス社は診療所、クリニック系のシェアが高い

富士通は、大病院での導入が多い

質疑

山田委員：導入費用はどの位になるのか

事務局：概算になるが、本体と連携医療機器、年間保守料金等含めて、急患センターで使用しているレセコンに電子カルテを上乗せする方式だと12,310,000円になり、全て新機種に更新すると16,407,000円になります。

他の富士通の機種ですと新規導入になるので21,008,000円になります。毎月の保守料金もウィーメックス社は1,524,000円、富士通系は2,784,000円と開きがあります。

阿部委員：東北大学では、富士通の電子カルテを使用しており、ウィーメックス社は初めて使用することになるが、診療する医師の電子カルテの操作サポート体制についてどうなるのか

事務局：大学派遣医師並びに市医師会の医師について、最初は急患スタッフにて操作サポートを行う。

阿部委員：病院の再編等、転送先の病院との電子カルテの共有については、大崎市民病院で実施している。

阿部委員：どのような形で電子カルテの連携が図られていくのか、システムだと紹介状のやり取りも簡単に行える。

丹野副所長：お聞きするが、2030年の電子カルテ導入に向けて国でも進めているが、共通の電子カルテフォーマットの進捗はどうなっているのか

山田委員：各電子カルテメーカー独自のフォーマットなので、今後共通化、標準化していくのはハードルが高いと思われる。

阿部委員：電子カルテメーカーは、国内だけでなく海外のメーカーもあり共通化は難しい。

2. 協議事項 令和7年度 診療計画等について

(1) 令和7年度事業計画から(2) 令和7年度管理運営委託料予算書について、加藤事務長補佐説明

委員から質疑なし

(3) 診療日・診療受付時間・診療科目から(4) 診療人員の構成について加藤事務長補佐説明

委員から質疑なし

(4) その他

(5) 閉 会